

第6回 青の国若山牧水短歌大会 審査結果

【青の国大賞】

鹿児島県 湧水町 福田 三四五

いつの日か白雪姫の馬車になる日向南瓜の夢の告白

■一般の部 自由題■

【最優秀賞】

鹿児島県 湧水町 福田 三四五

「ぼくすい牧水とボクはじゅうはちねんう十八年生まれ」しゃしん写真まね手をく組むよねんせい四年生

【優秀賞】

鹿児島県 いちき串木野市 萬福 平次

びょうしつ病室のまど窓からみ見えるつうがくろけさ通学路今朝はひとり一人のかず数がた足りない

福島県 郡山市 高木 茂子

あたらし新しい花のなまえ名前をおしえ教えたいというりゆう理由でほんとほんとに来るの

【優良賞】

宮崎県 日向市 長渡 栄子

軟弱な吾と思ふに強硬と言ふ人のあり少しうれしき

大分県 大分市 金澤 諒和

僕達はやがて他人になるだろう教室の窓いっぱいの花

福岡県 北九州市 原口 すま子

農事祭賑わう最中牛舎には「まつりちゃん」とふ子牛の生れる

【佳作】

岐阜県 各務原市 伊藤 敦

窓からは雨にまたたく街の灯が小さく見える仮設の住宅

鹿児島県 鹿屋市 有島 悟

馬の背の沖に広がる日向灘人の通いし古の海道

群馬県 藤岡市 千島 宏明

手の中に蛍を閉じ込め手渡せば君は素早く袖に光らす

宮崎県 門川町 田村 ツマ子

あへかなる冬陽にあれど夜具干せばほのかに陽の香が私を包む

宮崎県 日向市 今村 恵子

うら山に黄櫨の彩りちりばめて秋はゆったり私をつつむ

宮崎県 日向市 黒木 高幸

牧水の踏み出しさうな旅の像片足上げて明日を見てをり

宮崎県 宮崎市 塚本 宣子

便箋に半分ほどの母の文たった一枚のこる筆績

大分県 国東市 深蔵 孝子

若き日の花のブラウス装いてキミさんゆっくり押し車と歩む

宮崎県 日向市 榊野 典子

若き日の母が始めし薬店の店の名記されし団扇の朝顔

兵庫県 西宮市 桜田 一夫

むらさきのブドウの房の一粒につきし水滴大空映す

山口県 防府市 木原 樹庵

ほろほろと夕べの大根煮くづれてわれはやさしき人となりゆく

熊本県 熊本市 佐渡 京子

冷房を入れて査定を待ちをりぬ家の内外地震後の審察に

愛知県 新城市 浅井 淑裕

咲き誇る石楠花の花の一つより蜂後ずさりして歩み出でたり

神奈川県 茅ヶ崎市 石井 多壽子

今日もまた余震の続く阿蘇村の崩落土砂に花びらの舞う

宮崎県 日向市 木村 映一

幾万字書きにし指か残りゐる我が人生を語るぺんだこ

宮崎県 宮崎市 満行 幸博

始まりは瓶にさしたるガーベラの僕の好みの丈の確かさ

宮崎県 門川町 加藤 積

早期米猛暑に耐えし刈り入れは何時も甲子園熱戦の日なり

宮崎県 都城市 田爪 方子

傾きし門扉のみ残る爆撃の跡かたまごう益城の街に

宮崎県 諸塚村 西田 ちは

朝起きて家族と交す挨拶に今日百歳のこころ新し

■一般の部 題詠（白）■

【最優秀賞】

東京都 八王子市 岡部 美穂

「白い猫飼いたい！」と子は黒い点二つ描いた画用紙を抱く

【優秀賞】

兵庫県 播磨町 櫻井 雅恵

白は白あなたが言えばそれまでで黙るしかないわたしが嫌だ

千葉県 市川市 黒田 純子

白砂に心残して帰り来し私の過去は風紋となる



【優良賞】

宮崎県 宮崎市 児玉 万姫

吾子の手と我の手の中大小のころころまんまる白玉だんご

宮崎県 国富町 別府 紘

もう限界 廃園決めて伐採し焼く日向夏に白い花あり

長野県 千曲市 望月 恵子

新盆の読経が蟬に負けてゐる白旗あげむ短き生に

【佳作】

京都府 京都市 山田 百合子

婚活こんかつに白いスーツしろで出でかける娘胸こむねに手てをやりサインはVで

宮崎県 延岡市 片伯部 りつ子

シャンソンうたを歌おんなう女の人生じんせいをひき出だすピアニストしろの白い指ゆび

埼玉県 鴻巣市 渡邊 照夫

薫風くんぷうにリフレインしらなみする白波かきせいふくは夏季制服きようじょうのささめく教場

宮崎県 都城市 羽良 キヨ子

白紙しらかみに初はじめて「と」の字じを書かきし子こがいま詩しを紡つむぐ心開こころひらきて

東京都 三鷹市 関 静男

八本並はっほんならぶ新入社員しんにゅうしゃいんの白しろき脚あしパルテノン神殿しんでんえんちゆう円柱えんちゆうのごと

神奈川県 横浜市 長沼 通郎

ほとんどが白しろ一色いっしょくの子猫こねこには鼻はなのまわりにちよび髭ひげがある

宮崎県 都農町 永井 幸男

駆け落ちかおの祖母そぼが手折りたおて運びはこ来し讃岐大輪さぬきだいりんの白躑躅しろつつじ咲く

宮崎県 日向市 東村 吉市

まっ白しろに村むらをかくせし雨霧あまぎりのうすれる空そらに冠かんむりがだけ岳だけ

愛知県 稲沢市 中山 忠義

われが先さきに予定よていを記すカレンダーしるあとに妻書つまかく余白よはくを残すのこ

福岡県 北九州市 笠原 俊夫

蒼黒あおぐろき森もりに真白ましろき御幣ごへいあり神かみおわす場ばは風かぜの音おとのみ

宮崎県 延岡市 緒方 京子

鍵かけるごとひとり。パーツを埋めてゆく真白き薔薇のジグソーパズル

宮崎県 綾町 小森 愛子

子の中に兄を感じるこのあり白き魔の山に眠りしままの

岡山県 岡山市 川上 まなみ

会いたいと思うから会いにゆく春のその空間に咲く白丁花

宮崎県 日向市 上村 由美子

名の通り白地に赤き弁当は昭和と共に蓋を閉じたり

京都府 京都市 西川 恵理奈

白梅の堅き蕾のゆるるとほどけゆくことやはらかな君

宮崎県 日向市 木幡 八栄子

白髪をピン一本で結ふ義母は介護の車黙し待ちをり

熊本県 熊本市 岸 和子

層なして積乱雲の湧き立てりその頂きのこよなく白し

宮崎県 宮崎市 友枝 清子

舞ひ来たる白き蝶も乗せ一両の電車は走る朝の麦畑を

宮崎県 宮崎市 田中 英子

汚れるを前提として白きもの買わなくなりしはいつ頃なりけむ

宮崎県 綾町 瀬野 茂子

摘みとるとほんのり匂う外灯にひらひら光るはまゆうの白

■小学生の部■

【最優秀賞】

美郷町立美郷南学園 5年 松浦 慎之介

きょうりゆうが化石かせきになってやってきた博物館はくぶつかんからぼくらに会あいに

【優秀賞】

小林市立南小学校 5年 西添 奈々美

けっしょうはキラキラかがやくほう石せきだみんなの上うへに均等きんとうにふる

日向市立寺迫小学校 1年 那須 心奏

だいすきなあさがおのはっぱかわいいなはあとのかたちみつきいみたい

【優良賞】

小林市立南小学校 5年 中村 祐希

授業中えんぴつ落としとりにいく取ろうとしたら消しゴム落ちた

日向市立東郷小学校 3年 黒木 直也

くわがたが三びきいたよべつべつにだいじょうぶだよにげてもいいよ

日向市立東郷小学校 4年 吉田 帆波美

ほたるがねチーム作ってとんでいたきれいな道を作ってくれる

【佳作】

美郷町立美郷南学園 1年 黒木 結布

あさがおにめがでてほしいとおもってたつぎのひめがでた！びっくりしたよ

美郷町立美郷南学園 1年 大塚 紅羽

あさがおのおはなのなかにほしがあるきらきらとひかっているよ

美郷町立美郷南学園 1年 林 にこ

さいしよはねみずがこわくていやだった「やるっ！」ってきめたらざぶんとできた！

美郷町立美郷南学園 4年 黒木 大晴

夏の<sup>なつ</sup>稲<sup>いね</sup>ぐんぐん伸<sup>の</sup>びるはやいんだぼくがうえたの<sup>おお</sup>大きく<sup>い</sup>生きろ

美郷町立美郷南学園 5年 吉永 夏菜

こいのぼり<sup>かぜ</sup>風<sup>かぜ</sup>にふかれてゆらゆらとつかまえないなジャンプをしてね



美郷町立美郷南学園 6年 中森 優斗

夏の山鳥や虫たち鳴いているいろんなところからいろんな声で

日南市立鵜戸小中学校 6年 松浦 陽大

バリカンで三ミリ坊主すずしいな風呂の後は体ふくだけ

日向市立寺迫小学校 1年 和田 結茶

あさがおのはっぱにあたってびっくりだはっぱにしろいけちくちくいたい

日向市立寺迫小学校 6年 海野 直大

おそうじやいろんなことを教えるよ助けてあげたい一年生を

宮崎市立内海小学校 1年 藤井 琉星

ふしぎだなあさがおのつるからまったたおれないでねはながさくまで

日向市立坪谷小学校 2年 那須 陵太郎

あおばずくふさふさ子どもかわいいなことは5ひきおやこでならぶ

日向市立坪谷小学校 5年 上田 修三

アオバズク<sup>1</sup>羽<sup>わ</sup>が五<sup>5</sup>羽<sup>わ</sup>に増<sup>ふ</sup>えたんだこつちをギロリにらんでいるよ

宮崎市立宮崎西小学校 3年 山本 千聡

おばあちゃんのつくってくれたアイスはねキンキンなのにあったかいんだ

日向市立大王谷学園初等部 2年 水江 海音

カブトムシ<sup>なつ</sup>夏の王<sup>おう</sup>さまかみのようすごいつのをもつすごくほしい虫<sup>むし</sup>

日向市立大王谷学園初等部 3年 花房 悠斗

水<sup>みず</sup>をたすたせばたすほどうすくなるいろんないろを作<sup>つく</sup>れる絵<sup>え</sup>の具<sup>ぐ</sup>

都城市立乙房小学校 2年 小久保 吏都

ナメクジもあのかたつむりみたいにねからがほしいよあこがれなんだ

都城市立乙房小学校 2年 田中 沙緒理

今の風いまかぜすごくつよいたおれたよいつしよにいたずらしたかったな

日向市立東郷小学校 1年 稲田 颯大

さかなつりあゆがつれたようれしかったきいちじいちゃんおしえてくれた

日向市立東郷小学校 4年 太川 結衣

弟おとうとは七月七日しちがつなのかにう生まれたよ星ほしがかがやくたなばたの日ひに

日向市立東郷小学校 6年 矢野 旬瑠未

戦たたかいの激はげしさ悲かなしさ石いしがきのじゅうだんのあとが今いまに伝つたえる

【最優秀賞】

鵬翔中学校 3年 森田 純礼

木漏れ日の光のカーテンくぐり抜け先行く君を小走りで追う

【優秀賞】

日南市立鶉戸小中学校 1年 外山 絢野

お見舞いに行つた帰り駐車で見えたヒラヒラ動く祖父の手

宮崎日本大学中学校 1年 近藤 優菜

リズムよく傘にはじける雨の音十三歳を空から祝う

【優良賞】

鵬翔中学校 3年 田村 菜緒

前髪まえがみを切きったの気きづく君きみがいて心こころの中なかに花火はなびが上あがる

鵬翔中学校 3年 安藤 優希

持じ久きゆう走そうみんなの願ねがいこめられて雨あめにしたたるずうぼるてるて

日向市立財光寺中学校 2年 椎葉 晴日斗

八回はちかいも振ふられた友ともを見みた俺おれは恋れん愛あいなんかしないと決きめた

【佳作】

西米良村立西米良中学校 1年 甲斐 遼太郎

水<sup>みず</sup>たちはすべての命<sup>いのち</sup>を作り<sup>つく</sup>出す<sup>だ</sup>すべての動物<sup>どうぶつ</sup>水<sup>みず</sup>を求<sup>もと</sup>める

宮崎市立田野中学校 2年 川越 未来

休日<sup>きゆうじつ</sup>は休<sup>やす</sup>ませてくれ愛<sup>あい</sup>犬<sup>けん</sup>よ朝<sup>あさ</sup>から響<sup>ひび</sup>く犬<sup>いぬ</sup>のア<sup>あ</sup>ラーム

宮崎市立田野中学校 2年 横田 凧菜

雪<sup>ゆき</sup>の色<sup>いろ</sup>ミルク<sup>ミルク</sup>に似<sup>に</sup>てておいし<sup>おいし</sup>そう子<sup>こ</sup>ねこは知<sup>し</sup>らないそれが雪<sup>ゆき</sup>だと

宮崎市立田野中学校 2年 小川 泰史

暴<sup>あば</sup>れん坊<sup>ぼう</sup>弾丸<sup>だんがん</sup>の雨<sup>あめ</sup>暴<sup>ぼう</sup>風<sup>ふう</sup>雨<sup>う</sup>靴<sup>くつ</sup>の中<sup>なか</sup>には果<sup>は</sup>てしな<sup>しな</sup>い海<sup>うみ</sup>

都城市立祝吉中学校 2年 黒木 采里

夕<sup>ゆう</sup>暮<sup>ぐ</sup>れの空<sup>そら</sup>に溶<sup>と</sup>け込<sup>こ</sup>む金<sup>きん</sup>の音<sup>おと</sup>トロンボーンに心<sup>こころ</sup>を乗<sup>の</sup>せて

都城市立祝吉中学校 2年 木村 優介

教室きょうしつでほのかにかお香る制汗剤せいあせいざい匂いにおで感じる夏なつの訪れおとす

延岡市立恒富中学校 2年 入江 晴菜

お正月しょうがつ白しろいお餅もちのふくらみがあなただのほおにとても似にている

延岡市立恒富中学校 2年 早日渡 永遠

「ありがとう」文字もじは書かけるが口くちには出だせず言いおうとすれば言葉ことばに詰つまる

延岡市立恒富中学校 2年 甲斐 ひより

公園こうえんの緑みどりの中なかに花はなの白周しろまわりに溶とけない私わたしでありたい

美郷町立美郷南学園 9年 黒木 涼花

井戸いどの中蛙なつかえるが上うえを見上みあげてる私わたしもそろそろここを出でようか

鵬翔中学校 1年 鮑田 ひなの

悩み事かかえこんだらいけないよ死んでからでは遅すぎるから

鵬翔中学校 1年 後藤 光葵

半袖と長袖混ざる教室の飛び交う会話少し照れ気味

鵬翔中学校 2年 日高 凌央

十三歳未だに慣れぬ圧力消えゆく声と空っぽの僕

鵬翔中学校 2年 守田 愛

教室の窓のしずくの動きさえ一次関数のグラフに見える

鵬翔中学校 2年 甲斐 愛実

春風が桜の花びら落とすとき少し大きい制服着ている



日向市立東郷中学校 3年 甲斐 和茄那

隣となりの子身こしん長少ちゆうすこし伸のびていた夏休なつやすみとは偉大いだいなものです

延岡市立南中学校 2年 山下 恵史朗

十四才進路じゆうよんさいしんろに夢ゆめに迷まよう時期じき目指めざすところはただただ高たかく

延岡市立南中学校 2年 下田 来海

「瘦やせたい」と思おもうばかりで瘦やせられない料理りようりじよう上手ずな母ははのせいかも

宮崎日本大学中学校 3年 西條 花菜

好すきな人誰ひとかなんて聞きかないで思おもわず君きみと答こたえちやいそう

門川町立門川中学校 2年 原田 創太

決勝けつしょうで試合しあい出いでられず負まけた夜何よるなにも言いわずにスパイク磨みがく

■ 高校生の部 ■

【最優秀賞】

宮崎西高等学校 2年 壹岐 胡桃

遠くても後ろ姿ですぐわかる君だけ見える望遠鏡だ

【優秀賞】

宮崎西高等学校 2年 河野 雄介

考えに考え書いた解答が赤ペンの一線に斬られて終わる

【優良賞】

延岡商業高等学校 3年 前川 大暉

失敗しましたイチからだと言うけれどゼロじゃないだけいいじゃないか

佐土原高等学校 2年 渡慶次 壱加

ものすごくやさしくされるとどうしてかありがとうございますがごめんなさいに

宮崎北高等学校 3年 小坂 真由

台風たいふうの予想図よそうずを見て友ともに言う「進路決定しんろけつてい うらやましいな」

【佳作】

延岡商業高等学校 1年 松下 暉

いつもならきがるに話せる友なのに最近君がちがって見える

延岡商業高等学校 1年 甲斐 桃子

大丈夫が言っていたこの言葉重みを知らず受け取っていた

富島高等学校 2年 田中 美咲

放課後の君と歩いた帰り道二人の陰がだんだん伸びる

延岡高等学校 2年 甲斐 滉矢

カップルを遠目に見ながら肩寄せ合い俺達ずっと友達だよな？

延岡高等学校 2年 甲斐 帆乃桂

駐輪場いつも「ちゃん」付けする君の私呼ぶ声呼び捨てになれ

延岡高等学校 3年 中村 奈津美

天気予報てんきよほうきにするようになったのは君きみが遠とおくに引ひつ越こしてから

佐土原高等学校 2年 天津 翔

バス停ていで雨あめの滴しずくを眺ながめてた「後悔こうかい」っていう顔かおをしたまま

佐土原高等学校 2年 乙守 秀哉

席替せきがえの位置いちは教卓きょうたく前まえだけど君きみが隣となりでファーストクラス

佐土原高等学校 2年 宮下 丈明

卒業式そつぎようしき君きみに書かかれたアルバムアルバムの文字もじに笑わらった「ずっと友達ともだち」

宮崎商業高等学校 1年 寺原 璃音

潮風しおかぜが帽子ぼうしのリボンリボンをさらってくゆる水面みなもと私わたしの心こころ

宮崎商業高等学校 1年 明治 美月

テスト前謎の余裕があらわれて結局今日もおやすみなさい

宮崎商業高等学校 3年 狩峰 隆希

続かない会話の先をひき受けるように咲きおり紫陽花の道

延岡星雲高等学校 1年 佐藤 歩未

私とはよく会うそれはさびしそうどんなにまぜても勝てない白は

延岡星雲高等学校 1年 佐藤 凜

空見れば白のわたがし浮いているときどき苦くときどき甘い

都城聖ドミニコ学園高等学校 1年 松尾 実夕

マウンドで投げだす君のストレート私の心に最速ど真ん中

宮崎北高等学校 3年 猪股 廉

飲<sup>の</sup>みかけのミネラルウォーターあげるよと誘<sup>さそ</sup>ってくるよな君<sup>きみ</sup>は小悪魔<sup>こあくま</sup>

尚学館高等部 2年 桑田 敏樹

「好<sup>す</sup>きです」とその一言<sup>ひとこと</sup>が言<sup>い</sup>えなくて吃<sup>ども</sup>る私<sup>わたし</sup>はポンコツロボット

宮崎西高等学校 2年 諸賀 颯兵

ぽっかりと空<sup>く</sup>いてしまった一<sup>い</sup>部屋<sup>ぶつ</sup>を見つめて気づく兄<sup>あに</sup>の存在

宮崎西高等学校 2年 井澤 和

菖蒲湯<sup>あやむす</sup>に入<sup>い</sup>れたその葉<sup>は</sup>は真<sup>ま</sup>っ直<sup>ち</sup>ぐで思<sup>おも</sup>わず私<sup>わたし</sup>の背筋<sup>せき</sup>も伸<sup>の</sup>びる

宮崎西高等学校 2年 長友 颯耶

「背<sup>せ</sup>伸<sup>の</sup>びた？」そう言<sup>い</sup>う母<sup>はは</sup>と背<sup>せ</sup>比<sup>ひ</sup>べ抜<sup>ぬ</sup>かされたのに笑<sup>わら</sup>顔<sup>がほ</sup>になる母